

press release

2009年8月6日

(これは、ロンドンにて8月4日付で配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

スタンダードチャータード PLC 2009 年度上半期決算発表 税引き前利益 28 億 4,000 万米ドル(前年比 10%増)、 営業収益 79 億 6,000 万米ドル(前年比 14%増)を計上

ホールセールバンキング部門で過去最高の収益を更新
新株発行による 10 億ポンドの増資を発表
本年度の中間配当額は 1 割増

スタンダードチャータード PLC (スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社。本社：ロンドン、CEO：ピーター・サンズ)の2009年度上半期における業績(8月4日付で発表)は、営業収益 79.7億米ドル(前年比14%増)、税引き前利益28億4,000万米ドル(前年比10%増)と、前年度に引き続き過去最高の収益を計上いたしました。当行グループが事業展開する主要4地域の各市場で5億米ドル超の収益を計上するなど市場全域にわたり高い収益成長率を示しています。

今回の収益成長は、主にホールセールバンキング部門の力強い収益成長(収益成長率 37%増)に牽引されたもので、市況の悪化や高い市場ボラティリティをてこに同部門の市場シェアが増加したことに起因します。一方、コンシューマーバンキング部門では、税引き前利益の伸びが前期比(2008年下半期)で11%、営業収益については同期比でわずか3%の減益と、リストラクチャリング戦略による効果が徐々に現われています。

また、グループ取締役会は、同日付、本年度の中間配当額を一割増の 21.23 セントとすると発表いたしました。

グループ最高経営責任者(CEO)であるピーター・サンズは、次のように述べています。「大幅な収益更新という今回の業績結果については、昨年度の上・下両半期にわたる目ざましい成長モメンタムが大きく寄与しています。私どもの健全なバランスシートが、現在、競合他行との差別化を図る上での原動力となっており、さらなるビジネス拡充を後押ししています。スタンダードチャータード銀行は、まさに適切なタイミングで適切な市場にあるといえるでしょう」

スタンダードチャータード PLC の事業基盤については、TIER1 項目の自己資本率が 10.5%、総資本率が 15.8%と目標レンジを上回っていることから、引き続き堅調なものとなっています。また、不確実な景気局面にありながら、コスト上昇率が 3%とわずかであり、コスト・インカム・レシオ(経費率)も 49.6%と前年同期比(56.4%)で大幅な減少が見られることから、明らかにコスト管理の効果が現れてきています。

SUMMARY PRESS RELEASE

ホールセールバンキング部門では、事業戦略である顧客リレーションシップの強化により上位50顧客企業からの収益が40%増と、当該戦略が功を奏したことから、今上半期、営業収益50.3億米ドル、税引き前利益については36%増の22.5億米ドルを計上いたしました。また、同部門の管轄事業部における収益については、フィナンシャルマーケッツ本部68%増、コーポレートファイナンス部68%増、融資・ポートフォリオ管理事業部67%増となっており、4事業部のうち3事業部でそれぞれ10億米ドル超の収益創出となっています。

一方、コンシューマーバンキング部門における営業収益については15%減(前年比)の26.9億米ドル、営業利益については57%減(前年比)の3.48億米ドルを計上いたしました。今上半期は、低金利とともに、景気の下向き圧力によるウェルスマネジメント事業への影響、さらには投資トレンドがより安全な資産ポートフォリオヘシフトするという複数要因からこのような業績結果となったものです。しかし、一連のコスト削減と効率性向上への取り組みにより、前期比で収益性に改善が見られました。

また、バランスシートの健全性を重視するグループの方針を受けてコンシューマーバンキング部門が成功裏に顧客預金高の増強を行ったことで、総預金残高は12%増となり、グループに400億米ドル超の余剰流動性をもたらす結果となりました。また、主要市場である香港、シンガポール、韓国の3市場では、預金残高の伸びがそれぞれ31%、34%、33%を記録しました。

コンシューマーバンキング部門では、今回の景気後退およびクレジット市場を取り巻く環境が悪化したことを受けて、引き続き事業の再編成と融資関連債務のリスク軽減に努めています。ピーター・サンズは、「事業変革の中核となるのは、金融商品を単に販売するという経営姿勢から脱皮し、顧客の皆様一人ひとりにカスタマイズした複数商品を組み合わせた販売方式の導入により、さらに緊密な顧客リレーションシップを構築することだ」と述べています。

ホールセールバンキング、コンシューマーバンキング両部門の顧客層にとっては財務上いまだ厳しい局面にはあるものの、グループの資産ポートフォリオは、現在の経済状況を受けて良好に推移しています。また、リスク管理については、与信基準の引き締めや担保条件の厳格化、高リスクの事業セグメントを避けた無担保融資事業の再編成、そして回収業務担当者数の大幅増員により、引き続き慎重かつ積極的に取り組んでおります。

グループ財務最高責任者(CFO)であるリチャード・メディングスは、ホールセールバンキング部門における7月の収益が、複数の大型取引案件獲得により今年上半期の月平均を大幅に上回り、下半期も幸先の良いスタートを切ることができた」と述べています。

スタンダードチャータード PLC は、既存株の約4%となる16億米ドル相当の新株発行による増資を発表しました。ピーター・サンズ CEO は、次のようにコメントしています。「今回の増資で、金融危機から生まれるビジネスチャンスをついに生かすことができます。現在、ホールセールバンキング、コンシューマーバンキングの両部門では、商品カテゴリー、市場のほぼ全域にわたり、そのシェアを拡大しています。今回の金融危機をばねにしてさらにビジネス展開が図れるよう、現地のお客様をサポートしていく所存です」

SUMMARY PRESS RELEASE

本件に関するお問い合わせは下記にて受け付けます。

森田早智
スタンダードチャータード銀行
コーポレートアフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245/ Fax: 03-5511-9333
Sachi.Morita@sc.com

クリストファー・ドミター
スタンダードチャータード銀行
コーポレートアフェアーズ部 部長
Tel: 03-5511-1361/ Fax: 03-5511-9333
Christopher.Domitter@sc.com
(日本語で対応します)

財務実績ハイライト

(単位:百万米ドル)

グループ	2009 年度上半期	2008 年度上半期	増減(%)
営業収益	7960	6987	14
費用	(4027)	(3900)	3
融資の減損	1088	465	134
税引き前利益	2838	2586	10
ホールセールバンキング部門			
営業収益	5027	3664	37
税引き前利益	2249	1648	36
コンシューマーバンキング部門			
営業収益	2685	3177	(15)
税引き前利益	348	802	(57)

SUMMARY PRESS RELEASE

スタンダードチャータード銀行－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータードPLCは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位25社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、この5年間で収利益共に2倍強の成長を達成いたしました。これは主に事業母体からの収益成長(オーガニック成長)によるものです。

スタンダードチャータード銀行は、お客様のニーズに注力した世界最高の国際的銀行を目指しています。当行グループが計上する営業収益および営業利益のおよそ9割は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,600店舗を展開するグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。

当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125以上の国籍により構成される総勢70,000余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は70に及んでいます。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で129年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約290名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語):

www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

www.standardchartered.co.jp/index_english.html